



大部っ子

大部小だより

令和6年2月

「やさしく かしこく たくましく」－自ら学び、ともに生きる児童の育成－

文責：学校長



【大部小公式HP】 <http://ono-edu.jp/oba/>

<阪神淡路大震災>と<能登半島地震>

吉 岡 優

神戸ルミナリエ ～2024. 1. 19-1. 28

神戸ルミナリエとは、今から29年前の1995年から冬場に神戸市の旧居留地を中心に開催されている祭典を指します。同年1月17日に起こった**阪神・淡路大震災**を契機に、震災の犠牲者を追悼すること、震災の記憶を後世に継承することを目的に創設されたそうです。実は昨年までの3年間は新型コロナのため中止が続いていましたが、今年は4年ぶりに開催されました。しかも、過去12月開催でしたが、今年は震災の日の1.17に合わせて開催日を決めたそうです。



阪神淡路大震災を想起して～1995. 1. 17. Tue. 05:46:52

大部小だより（デジタル版）第20号でもお話しましたが、2024年1月1日（火）16:10頃、能登半島を大きな地震が襲いました。多くの方が未だに苦しい避難生活を過ごされていると思うと胸が張り裂けそうになります。私はこの報道に接し、**29年前の阪神淡路大震災**を思い出しました。当日私は旭丘中勤務で、授業中校舎が幾度となく揺れ、子どもたちを机の下にもぐらせたことや、知り合いが避難生活を送っていたこと（悲しい話ですが、ケガをしたり、亡くなった方もいました。）、また私自身、震災ボランティアに参加し、カレーの炊き出しを手伝ったことなど昨日のことに思い出しました。

自発的に始まった「能登半島地震」募金活動～児童会の取組

先日、児童会担当教員から「子どもたちが『能登半島地震へ募金したいので、行動を起こしたい。』っていうんですよ。取り組ませていいですか？」と相談がありました。私は「主体的にしようと動くのはいいことだ。」とかえしました。子どもたちの「何か協力したいという善意を無にはできない」と考え、取組を子どもたちに託すこととしました。次の日から早速募金が集まっています。皆さんの善意が確実に被災地のみなさんに届くよう手配します。

1月の大部小学校

大谷選手からの贈り物 ～3つのグローブとコメント

到着直後から、クラスごとに貸し出しをしていますので、2月初めには、一通り子どもたちが見たり、ふれたりすることができるとの予定です。写真もいっぱい撮っています。やっぱり、大谷選手の人気ってすごいと改めて思いました。

なお、大谷選手のメッセージ全文は[大部小だより（デジタル版）第21号](#)に掲載しておりますので、一読いただければ幸いです。



避難訓練&追悼集会～1.17 in 大部



1.17 追悼集会の前に避難訓練を実施しました。授業中に地震が発生した時は机の下に潜り込み、頭を守ることが自然にできるようになっています。そして、避難場所までの移動も私語なく整然と集合している様子に感動しました。さらに、追悼集会でも静かに話が聞け、命の大切さを再認識することができました。そして、今年の<1.17>の

[スローガン「共（とも）に」](#)の言葉をしっかり噛みしめていました。

金融学習3年～小・高連携

1月18日（木）小野高校のお姉さんお兄さんが「お金」のお話をしてくれました。お金（貨幣経済）の歴史を学んだり、物々交換の体験活動をしたりする中で、「物々交換よりも貨幣の方が便利だね。」と実感したようです。同時に金銭の大切さも大いに学びました。小野高校のお姉さんやお兄さんは今年本当によく来校（10月ボッチャ体験）してくれて、有難いと思っています。子どもたちにいろいろな学びを提供してくれました。やはり、対面での交流【体験学習】はとても大切で、子どもたちに「豊かな心」が育成されていると実感しています。



小野市小学校珠算大会3年（オンライン）～2024.1.26.



26日（金）、オンラインではありますが、小野市全ての小学校が一堂に会した珠算大会が開催されました。小野市の伝統産業である<そろばん>にふれ、学ぶ機会です。もう、何十年も続いている歴史ある取組です。算盤の学習で学んだ技能を試したり、他校の友だちと交流したりと約2時間という短い時間でしたが、貴重な学び、体験となりました。